



公益社団法人

日本表面真空学会

The Japan Society of Vacuum and Surface Science

令和元年度 日本表面真空学会中部支部シンポジウム
「環境発電と再生可能エネルギーの最近の研究開発動向」

主催 (公社) 日本表面真空学会中部支部
協賛 応用物理学会東海支部 (依頼予定を含む)

いろいろな物がインターネットに接続されるようになり、モノのインターネット IoT、ヒトのインターネット HoT という言葉に出会う機会も多くなりました。これにともない、環境負荷を減らしつつ必要な電源を確保することの重要性が高まっています。身の回りからエネルギーを回収する環境発電技術の利用や再生可能エネルギーの利用が求められており、対象とするエネルギー源に合わせて、材料、構造およびプロセスを最適化することが必要になっています。

現在、次世代を担う環境発電技術や再生可能エネルギーの研究開発が活発に行われています。表面科学や真空技術は分析および特性評価に不可欠であり、新しい素材や新しいメカニズムに関する研究だけでなく、産業化に向けた分野においても重要な役割を果たすことが期待されています。本シンポジウムでは、『環境発電と再生可能エネルギーの最近の研究開発動向』と題して、基礎から応用にわたって第一線でご活躍中の講師の方々にご講演いただきます。皆さまのご参加をお待ちしています。

1. 日時 2020年2月8日(土) 13:30 - 17:55

2. 場所 名古屋工業大学 2号館1階0211教室 (愛知県名古屋市昭和区御器所町)

3. プログラム

13:30-13:35 開会あいさつ 河原 敏男 (中部支部長)

(1) 13:35-14:35 「有機半導体およびCNT複合材料の特徴を活かした新しい熱電材料/素子」(仮)
中村 雅一 先生 (奈良先端科学技術大学院大学)

(2) 14:35-15:35 「圧電薄膜を用いた振動発電技術」
神野 伊策 先生 (神戸大学)

15:35-15:50 休憩

(3) 15:50-16:50 「バイオ燃料研究が導く未来—持続可能な社会の発展を目指して—」
渥美 欣也 先生 (株式会社デンソー)

(4) 16:50-17:50 「プラズマオンチップ: 医療・生物学応用に向けた環境にやさしいマイクロ
デバイス技術」
熊谷 慎也 先生 (名城大学)

17:50-17:55 閉会あいさつ 市村 正也 (中部支部副支部長)

4. 参加費 (テキスト代、消費税含む。当日、会場受付にてお支払いください。)

会員 (協賛学会員を含む) 2,000 円、学生 1,000 円、一般 4,000 円

閉会後の懇親会参加費 4,000 円 (参加をご希望の場合は、申し込み時にご連絡ください。)

5. 申し込み方法 (参加定員 50 名)

メールの表題は「表面真空学会中部支部シンポジウム申し込み」とし、次の項目をご記入の上、お申してください。(1) 氏名(ふりがな)、(2) 所属、(3) 連絡先(郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス)、(4) 参加区分(会員※協賛学会員を含む、学生、一般)

メール送付先：原 正則 (豊田工業大学) haram@toyota-ti.ac.jp

締め切り：2020年1月24日(金)

* ご記載いただきました情報は、本件の参加者の把握・連絡以外には使用いたしません。

6. 会場案内

名古屋工業大学 2号館1階0211教室 (愛知県名古屋市昭和区御器所町)

JR 中央本線 鶴舞駅下車 (名大病院口から東へ約400m)、

地下鉄 鶴舞線 鶴舞駅下車 (4番出口から東へ約500m)

* 公共交通機関をご利用ください。

URL: <https://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

